

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業		事務事業名 ヘルスパイオニアタウン事業（水中運動教室受講者助成経費）	
区分	番号	名称	
章	1	やさしさと共生するまち	
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる	
施策	2	保健予防活動の充実	
小分類	1	成人及び老人保健の充実	
主要な施策	2	健康教育・健康相談体制の充実	
事務事業番号	003	事務事業コード	12212003
		事業開始年度	平成 1 6 年度
		事業終了年度	平成 - 年度
会計種別	国民健康保険特別会計		予算書上の事務事業名
			水中運動教室受講助成経費
部 名	保健福祉部	グループ名	国民健康保険 G
統合前または名称変更前の事業名			

事務事業の目的と成果	
目的	<p>（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>水中運動教室への参加機会を拡大することにより、健康の保持・増進を図り、被保険者の健康管理に対するの自覚と認識を促す。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p>市民プールで実施の水中運動教室に参加する被保険者に対し、受講料の半額（1,000円）を助成し、生活習慣病、整形疾患の予防改善を図る。</p>
成果	<p>（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防に重要である、体重をコントロールしていく。 体力を増進させる。 精神面と身体面の両方から健康増進を図る。
根拠法令等	

指標の推移							
区分	単位	区分	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	26年度目標
成果指標	円	目標値	2,748	4,751	4,751	4,751	4,751
		実績値	2,708				
	割合	目標値	8		8		8
		実績値	9				

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称 国民健康保険税	千円	1,090	1,540	1,320	1,320	1,320	3,960
	一般財源	名称	千円						0
合 計				1,090	1,540	1,320	1,320	1,320	3,960
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	80	82			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	22			
			合 計		80	104			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 本事業は、被保険者の水中運動教室受講料を半額助成するものであり、教室そのものを市が直接実施するわけではない。 したがって、被保険者の健康づくりのために、市(保険者)が受講料の一部を助成をしていくことは、妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 22年度に教室参加者に対し、アンケート調査(2年に1回実施予定)を実施したところ、「体重減少した方」が約3割、「体重維持している方」が6割強で、「教室に参加後、健康になったと思うか」に対しては、約9割の方が「そう思う」と答えており、事業効果があると判断している。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 市が直接、水中運動教室を実施しているのではなく、教室への申込や助成金の申請等を含めて、文化・スポーツ振興財団に全面委託しており、既に事務の効率化を図っているため、これ以上事務事業の成果を向上させることは困難である。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト(予算や人工、所要時間)を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 本事業は、被保険者が市民プールで実施する水中運動教室の受講料を半額(1,000円)助成するもので、これ以上削減することは難しいと判断する。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	水中運動教室は、幅広い被保険者層の参加が可能であり、生活習慣病や整形疾患を予防・改善することが期待できるため、維持していく。
-----------	----------------------	--

総合的な評価(当該事務事業の方向性)

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大(事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業)
- 維持(現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業)
- 改善(現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業)
- 休止(暫定的に休止する事務事業)
- 終了(当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業)
- 廃止(当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業)